

1. 次の問い合わせに答えよ。

- (1) 令和4年度（2022年）の国民生活基礎調査における65歳以上の高齢者がいる世帯について正しいのはどれか。
1. 単独世帯は4割である。
 2. 三世代世帯は増加している。
 3. 夫婦のみの世帯が最も多い。
 4. 親と未婚の子のみの世帯は1割である。
- (2) 健やか親子21（第2次）の基盤課題Bのうち、学童期・思春期の課題の指標となっているのはどれか。2つ選べ。
1. 十代の喫煙率
 2. 十代の自殺死亡率
 3. 十代の定期予防接種の接種率
 4. 児童・生徒における不登校の割合
 5. 児童・生徒における虫歯（う歯）の割合
- (3) 難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉において国が行うとされているのはどれか。2つ選べ。
1. 難病対策地域協議会の設置
 2. 申請に基づく特定医療費の支給
 3. 難病の治療方法に関する調査及び研究の推進
 4. 指定難病にかかる医療を実施する医療機関の指定
 5. 難病に関する施策の総合的な推進のための基本的な方針の策定
- (4) 食中毒予防の原則である「中心温度75度以上1分以上の加熱」が有効なのはどれか。
1. フグ毒
 2. 毒キノコ
 3. 黄色ブドウ球菌
 4. サルモネラ属菌
- (5) 成年後見制度で正しいのはどれか。
1. 任意後見人は裁判所が決定する。
 2. 認知症の診断と同時に成年後見制度が適用される。
 3. 日常生活自立支援事業の一部として位置づけられる。
 4. 成年後見人は財産管理などの手続きを本人の代理で行う。

- (6) Aさん（28歳、女性）は、2歳の子どもを養育しながら働いている。Aさんが所定労働時間の短縮を希望した場合、事業主にその措置を義務付けているのはどれか。
1. 児童福祉法
 2. 労働基準法
 3. 育児・介護休業法
 4. 男女雇用機会均等法
 5. 男女共同参画社会基本法
- (7) 日本の令和4年度（2022年）の擁護者による高齢者虐待の種類で最も多いのはどれか。
1. 身体的虐待
 2. 介護等放棄
 3. 心理的虐待
 4. 性的虐待
 5. 経済的虐待
- (8) 3歳児の排泄行動の発達に該当するのはどれか。
1. 夜尿をしなくなる。
 2. 尿意を自覚し始める。
 3. 排便後の後始末ができる。
 4. トイレに行くまで排尿を我慢できる。
 5. 遊びに夢中になっても排尿の失敗が無くなる。
- (9) 現在の日本の精神医療で正しいのはどれか。
1. 精神保健福祉センターは各市町村に設置されている。
 2. 精神病床に入院している患者の疾患別内訳では認知症が最も多い。
 3. 精神障害者保健福祉手帳制度によって通院医療費の給付が行われる。
 4. 人口当たりの精神病床数は経済協力開発機構（OECD）加盟国の中では最も多い。
- (10) Aさん（30歳、女性）。月経周期は28日型で規則的である。5日間月経があり、現在、月経終了後14日が経過した。
- この時期のAさんの状態で推定されるのはどれか。2つ選べ。
1. 排卵後である。
 2. 乳房緊満感がある。
 3. 子宮内膜は増殖期である。
 4. 基礎体温は低温相である。
 5. 子宮頸管の粘液量が増加する。

(11) 重症筋無力症で正しいのはどれか。

1. 男性が多い。
2. 心肥大を生じる。
3. 朝に症状が強くなる。
4. 自己免疫疾患である。
5. 70歳以上に好発する。

(12) 幼児を対象とする定期予防接種はどれか。

1. B型肝炎
2. 水痘ワクチン
3. BCGワクチン
4. HPVワクチン
5. ロタウイルスワクチン

(13) 自殺対策基本法で都道府県に義務付けられているのはどれか。

1. 自殺対策計画の策定
2. ゲートキーパーの養成
3. 自殺総合対策大綱の策定
4. 自殺総合対策推進センターの設置

(14) 災害医療について正しいのはどれか。

1. 災害拠点病院は市町村が指定する。
2. 医療計画の中に災害医療が含まれる。
3. 防災訓練は災害救助法に規定されている。
4. 災害派遣医療チーム〈DMAT〉は災害に関連した長期的な医療支援活動を担う。

(15) Aさん(85歳、女性)は、1人暮らし。日常生活は自立しており、健康のために毎日20~30分のウォーキングをしている。夜間は、廊下を歩いて1,2回トイレに行く。

Aさんの現時点での家屋環境の整備で最も優先されるのはどれか。

1. 便座の高さを高くする。
2. 廊下に手すりを設置する。
3. 廊下に足元照明を設置する。
4. トイレの扉を引き戸にする。

(16) 産後うつ病で正しいのはどれか。

1. 一過性に涙もろくなる。
2. スクリーニング調査票がある。
3. 日本における発症頻度は約 40%である。
4. 産後 10 日頃までに発症することが多い。

(17) 離乳の開始で正しいのはどれか。

1. 離乳食は 1 日 2 回から開始する。
2. 人工乳はフォローアップミルクにする。
3. 哺乳反射の減弱が開始時の目安のひとつである。
4. 離乳食は歯ぐきでつぶせる硬さの物から始める。

(18) 労働基準法で定められているのはどれか。2 つ選べ。

1. 妊娠の届出
2. 妊婦の保健指導
3. 産前産後の休業
4. 配偶者の育児休業
5. 妊産婦の時間外労働の制限

(19) A さん（40 歳、男性）は、5 年前に勤めていた会社が倒産し再就職ができず、うつ病になった。その後、治療を受けて回復してきたため、一般企業への再就職を希望している。

A さんが就労をめざして利用できる社会資源はどれか。

1. 就労移行支援
2. 就労継続支援 A 型
3. 就労継続支援 B 型
4. 自立訓練〈生活訓練〉

(20) 世界保健機関〈WHO〉の主要な活動はどれか。2 つ選べ。

1. 児童労働の撲滅
2. 保健事業の技術的協力
3. 人類の飢餓からの解放
4. 感染症の撲滅事業の促進
5. 労働者の労働条件の改善

(21) 大規模災害発生後 2 か月が経過し、応急仮設住宅で生活を始めた被災地の住民に出現する可能性が高い健康問題はどれか。

1. 慢性疾患の悪化
2. 消化器感染症の発症
3. 深部静脈血栓症の発症
4. 急性ストレス障害の発症

(22) A さん（83 歳、男性）は、脳梗塞の後遺症で右片麻痺があり、在宅療養中である。嚥下障害のため胃瘻を増設している。義歯を装着しているが、自分の歯が数本残っている。

A さんの口腔ケアについて、介護者への指導で適切なのはどれか。

1. 義歯を装着したまま歯を磨く。
2. 経管栄養直後に実施する。
3. ペースト状の歯磨き剤を使用する。
4. 歯垢の除去には歯ブラシを用いる。

(23) 要介護 2 と認定された高齢者の在宅療養支援において、支援に関与する者とその役割の組み合わせで適切なのはどれか。

1. 訪問介護員・・・・日常生活動作〈ADL〉の向上のための訓練
2. 介護支援専門員・・・居宅サービス計画書の作成
3. 市町村保健師・・・家事の援助
4. 訪問看護師・・・・運動機能の評価

(24) パーキンソン病の症状について正しいのはどれか。

1. 満月用顔貌になる。
2. 腕を振らずに歩く。
3. 後ろに反り返って歩く。
4. 頭を左右に大きく振る。

(25) 選択的セロトニン再取り込み阻害剤〈SSRI〉で正しいのはどれか。

1. パニック障害に対して有効である。
2. 抗コリン作用は三環系抗うつ薬よりも強い。
3. うつ症状が改善したら使用はすぐに中止する。
4. 抗うつ効果の評価は使用開始後 3 日以内に行う。

(26) 労働者災害補償保険法に規定されているのはどれか。2つ選べ。

1. 通勤災害時療養給付
2. 失業時の教育訓練給付金
3. 災害発生時の超過勤務手当
4. 有害業務従事者の健康診断
5. 業務上の事故による介護保障給付

(27) 雇用保険法について正しいのはどれか。

1. 育児休業給付がある。
2. 雇用保険は任意加入である。
3. 雇用保険の保険者は市町村である。
4. 雇用保険料は全額を労働者が負担する。

(28) Aさん（79歳、男性）は、1人暮らし。要介護2の認定を受け、訪問看護を利用することになった。初回の訪問時、Aさんは敷いたままの布団の上に座っており「便利だから生活に必要なものを手の届くところにおいているんだよ」と話した。

Aさんの生活様式を尊重した訪問看護師のこの時の声掛けで適切なのはどれか。

1. 「外に出て気分転換しませんか」
2. 「昼間は布団をたたみましょう」
3. 「介護保険でベッドの貸与を受けましょう」
4. 「必要なものを身近においているのですね」

(29) 災害対策基本法に定められている内容で正しいのはどれか。

1. 物資の備蓄
2. 避難所の設置
3. 災害障害見舞金の支給
4. 救護班による医療の提供

(30) 慢性閉塞性肺疾患について正しいのはどれか。

1. 残気量は減少する。
2. %肺活量の低下が著明である。
3. 肺コンプライアンスは上昇する。
4. 可逆性の気流閉塞が特徴である。

(31) 糖尿病の合併症のうち、健康日本 21（第 3 次）の目標に含まれるのはどれか。

1. 腎症
2. 感染症
3. 網膜症
4. 神経障害
5. 血行障害

(32) 全身性エリテマトーデス〈SLE〉で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 遺伝要素の関与が大きい。
2. 発症には男性ホルモンが関与する。
3. 中枢神経症状は生命予後に影響する。
4. I型アレルギーによる免疫異常である。
5. 適切に治療しても 5 年生存率は 50% である。

(33) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉に基づく 5 類感染症はどれか。2選べ。

1. 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉
2. 腸管出血性大腸菌感染症
3. つつが虫病
4. 日本脳炎
5. 梅毒

(34) 令和 4 年（2022 年）の国民生活基礎調査で、女性の有訴者の症状が最も多いのはどれか。

1. 腰痛
2. 肩こり
3. 物忘れ
4. 体がだるい

2. 次の文を読み、下記の問い合わせに答えよ。

Aさん（20歳、女性、大学生）は、最近、同じ大学に所属するパートナー（21歳、男性）との性交後に白色帶下が増えた。外陰部に腫瘍は見られず搔痒感や痛みはないが、時々、下腹部に痛みがあった。Aさんは性感染症〈STD〉を疑い、1人で産婦人科クリニックを受診した。診察時の体温36.8°C、脈拍62／分であった。

(1) Aさんの状態に最も当てはまる性感染症〈STD〉はどれか。

1. 性器ヘルペス
2. 尖圭コンジローマ
3. 膣トリコモナス症
4. 性器クラミジア感染症

(2) Aさんは医師から「パートナーにも感染の可能性があるので性交渉をしないように」と説明を受けた。Aさんは看護師に「パートナーとはいから性交渉をしても良いですか」と相談した。性交渉を再開する時期の説明で正しいのはどれか。

1. 処方された内服薬をAさんが飲み終えた後
2. Aさんの性感染症〈STD〉の症状が無くなった後
3. パートナーが性感染症〈STD〉の検査を受けた後
4. Aさんとパートナーが性感染症〈STD〉の治癒が確認された後

3. 次の文を読み、下記の問い合わせに答えよ。

Aさん（90歳、女性）は、アルツハイマー病で、重度の認知機能の低下がある。要介護4で、短期入所や通所介護を利用している。長年、長男夫婦が自宅で介護している。

(1) 現在のAさんのアルツハイマー病の状態で最も適切なのはどれか。

1. 視線を動かすことができる。
2. 車椅子を操作することができる。
3. 季節に合わせて服を選ぶことができる。
4. Mini-Mental State Examination 〈MMSE〉 20点である。

(2) Aさんは、誤嚥性肺炎のため入退院を繰り返している。今回の入院で主治医はAさんの家族に胃瘻の造設を含めた今後の方針を説明した。Aさんの長男は胃瘻の造設を希望せず、主に介護を行ってきた長男の妻は「私には決められない」と迷っている。

Aさんの長男に対する看護師の対応として最も適切なのはどれか。

1. 「あなたがAさんの立場ならどうしますか」
2. 「介護支援専門員の考えを聞いてみましょう」
3. 「私の経験から胃瘻を作らないことを勧めます」
4. 「Aさんはこのような状況になったとき、どうしたいと言っていましたか」

(3) その後、Aさんは誤嚥性肺炎の症状が軽快し、胃瘻を造設せずに退院する予定である。家族は自宅での介護を考えていたが、長男の妻が脳出血で入院したため、Aさんの退院先の再検討を行うことになった。

Aさんの退院先として最も適切なのはどれか。

1. 軽費老人ホーム
2. 介護老人福祉施設
3. 回復期リハビリテーション病棟
4. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

4. 次の文を読み、下記の問い合わせに答えよ。

Aさん（24歳、初産婦、会社員）は、現在、両親と妹の4人で暮らしている。パートナー（24歳、会社員）とは近く結婚する予定である。Aさんは、妊娠8週の妊婦健康診査で「朝起きると気持ちが悪くてあまり食べられません。台所から食べ物のにおいがするだけで吐きそうな気がします」と話している。

(1) Aさんへの食事指導で最も適切なのはどれか。

1. 水分は暖かい飲料にする。
2. 栄養のバランスの良い食物を摂取する。
3. 1回量を少なくして食べる回数を増やす。
4. カロリーの高い食物を積極的に摂取する。

(2) このときの妊婦健康診査で「妊娠することは考えていなかったので、これから自分の体にどういうことが起こるのかわかりません」とAさんから相談があった。看護師は、次の妊婦健康診査までに生じやすい変化について説明することにした。

Aさんに生じやすいのはどれか。

1. 痔
2. 便秘
3. 腰痛
4. 静脈瘤

(3) Aさんは、妊娠23週に結婚し、パートナーの家に転居した。翌週の妊婦健康診査で、Aさんは「最近は、結婚や引っ越しで忙しかったです。これから新しい環境に慣れていくたいと思っています」と話した。妊娠経過は順調である。

この時に看護師がAさんに対して説明する内容で優先度が高いのはどれか。

1. 保育所の選択
2. 乳房の手入れ
3. 側臥位での睡眠
4. 妊婦健康診査の受診頻度